



# 小岩第三中学校だより

開校70周年記念 特別号

教育目標

- ・自他を大切にし、思いやりのある人
- ・心身ともに健康で、豊かな実践力のある人
- ・積極的に学習し、考えて行動できる人
- ・文化や伝統を尊重し、社会に貢献できる人

平成29年11月10日

## 堂々とした70周年記念式典での態度！

校長 蓮沼 千秋

11月7日（火）に、本校開校70周年記念行事が挙行されました。当日は、式典と祝賀会の2部構成でしたが、大成功を目指し、PTA 役員・OB や実行委員の方々、地域の皆様が全面的に協力・支援していただいたお蔭で厳粛な式典及び心温まる祝賀会とすることができました。来賓の方々からは、「生徒たちの歌声や態度が大変素晴らしくて感動した。」とお褒めの言葉をいただいたり、祝賀会でのおもてなしに「小岩三中の心を感じた。」と感謝の言葉もいただきました。PTAの皆様には、早朝より受付、接待等にご協力いただき、本当に有り難うございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

以下、当日の校長式辞と生徒代表喜びの言葉を掲載いたします。

菊の香かおる今日の佳き日に、多くの皆様方のご臨席を賜り、ここに東京都江戸川区立小岩第三中学校開校70周年記念式典を挙行できますことは、誠に喜びに堪えません。

本日の式典には、江戸川区長代理 江戸川区教育委員会教育長職務代理者 松原秀成様 江戸川区議会議員 斉藤正隆様をはじめとして、地元関係議員の皆様、地域の皆様、更には同窓会の皆様、PTA 関係の皆様、地域の小学校、中学校、高等学校の校長先生、本校に関係されました教職員の皆様と、多数ご臨席賜り、このように盛大に実施できますことを大変光栄に存じます。高い壇上から恐縮ではありますが、厚くお礼申し上げます。「有難うございます」

さて、70周年の式典にあたり、本校の歴史を少し振り返ってみたいと存じます。本校は、戦後の学制改革により誕生した新制中学校として昭和22年4月1日に創立され同年5月に西小岩小学校、中小岩小学校を仮校舎として開校、昭和24年3月現在の地に新校舎が設立されております。開校当初は、10名の教職員、228名の男子生徒のみのスタートであり、校庭を生徒がスコップを持って整備したり、保護者や地域の方々が日用品や文具を持ち寄って教育環境を整備されていた苦労話が当時の記録に残されています。そうした厳しい教育環境の下、第1回卒業生が文集の中で次のように述べています。「待ちに待った新校舎ができて、初めて校舎を見た時とても大きく見えた。校庭はかつてまだ田んぼで、ザリガニが這い回っていたのに、今はそんなことも想像できない程良い校庭になった。自分たちが入学した時は、教科書や教材も満足になく、苦労したので後輩たちが羨ましくもあるが、これからの生徒がより良い学校生活をおくれることを喜んでいる。」とあります。

本日、1期生の方々にもお見えいただいておりますが、実に後輩思いの心の広い先輩たちがいたのでですね。その後も、生徒数の増加に伴う増築や鉄筋校舎への改築、全国でも珍しいドーム型プールや立派な武道場の建築など、現在の小岩第三中学校の校舎施設として落ち着くまでには、幾多の困難があり、長い年月と多くの方々のご苦労があったことを忘れてはなりません。

今、恵まれた時代にあつて、在校生の皆さんにはあまりピンとこない話かもしれません。しかし、こうした苦難の歴史や学校関係者の努力があつたからこそ、今日の70周年があるのです。「温故知新」という言葉があります。古きをたずねて新しきを知るということですが、この周年の行事というのは正しくその時です。折に触れ、先人の歩んだ道を思いだし、その時の思いや気概を知るということはとても大切なことです。

この学校小岩第三中学校ができた時、創設当時の人々の「こんな学校であつて欲しい」「こんな学校にしたい」という切なる願いを思い、今自分たちはどうあつたらよいか改めて考えてみる機会にしたいと思ひます。そうした思いを胸に、次のステップへ向け一歩を踏み出していく日が今日であります。70年という節目を祝うと同時に、次の出発へ向けての決意を新たにすることが周年の意義です。

結びに、次の時代へ向け、校歌にあります公德・礼讓・明朗の精神を継承し、本校の良き伝統となっています文武両道を一層根付かせ、江戸川区に東京都に小岩第三中学校在りとの強い存在感を示すという決意を表明して、私の70周年を祝う式辞と致します。

## 喜びの言葉

小岩第三中学校、開校70周年に寄せて。僕たちの学校には、素敵な先生方がたくさんいます。私たちの学校には、いつでも学校に立ち寄つて、笑顔で仕事をしてくださるPTAの方々が大勢います。学校の周りには、温かく声をかけてくださり、時には、力を貸してくださる地域の方々でいっぱいです。そして、三中に来てくださるたびに、私たちの頑張りを一緒になつて喜んでくださり、エールを送ってくださる頼もしい同窓生の先輩がたくさんたくさんいます。そんな、多くの方々に、愛され、支えられ、いつでも温かく優しい風の吹く小岩三中で、僕たちは学校生活を送っています。

興奮気味の新生が闊歩する100メートルともいわれる長い廊下。音楽の時間、スカイツリーと富士山に心を癒される四階棟。大雨の日でもへっちゃらな屋根が開閉するプール。対外試合の会場校にもなる、大きく立派なここ体育館や武道場。整備された広くのびのびした校庭。

そんな恵まれた校舎に守られ、出来立てあつあつのおいしい給食を食べられ、勉強できる幸福を私たちは今、当たり前のように享受しています。

そして、僕たちは、開校以来、70年間先輩方が疾走してきた「文武両道」という二つの道を、全力で突っ走っています。

今年、陸上部は連陸三連覇の偉業を達成しました。全校体制で戦つた結果の完全勝利の凱旋は、夕方遅かつたにも関わらず、校庭いっぱいに広がつたアーチと、四階の全開した窓から聞こえてくる吹奏楽部の演奏で迎えられました。

また、テニス部、バドミントン部、ソフトボール部、卓球部の都大会出場。バレーボール部・バスケット部の健闘を始め、各部でも志高く、日々、仲間とともに切磋琢磨しています。

文化部でも、吹奏楽部の金賞受賞をはじめとするめざましい功績や、カルガモの保護で一躍有名になつた生物環境部の、環境問題への取り組みが認められた入賞。また、今回の記念誌の表紙を飾つた美術部が手掛ける運動会の巨大横断幕は、今や三中運動会の名物となっています。

「文武両道」の「文」の部分でも、引けをとりません。

落ち着いた教室で、皆が前を向いてとるノート。わかる問題なら、すぐに挙がる多くの手。毎時間、赤ペンいっぱい添削して返してくださる英文日記。本当の学力をつけてくださろうとしている先生方の気合いの入つた授業。恵まれた学習環境で、私たちは、いつでも落ち着いて精一杯、勉強

することができます。小岩三中生が掲げる「文武両道」。僕たちはこの四文字を毎日楽しみながら実現しています。日が暮れて、南門で友と手を振って別れながら、僕たちの顔は心地よい疲れと共にいつも笑顔です。なぜなら、小岩三中では、人と人のつながりが、関わりが、僕たちをぐんぐん強くしているからです。

例えば、開校以来、伝統となっているクロスカントリー大会。朝練を設定してくださる体育科の先生方。それにつられて朝から頑張る友達から受ける刺激。体育の授業中の友の頑張りに火が点く自分の頑張り。当日のものはや自然な青木さんの交通誘導。みんなの声援。友の後ろ姿。沿道のお母さんたちの、先生方の声援。・・・たくさんの人の支えで自分が頑張れた。あの緑の涼しい江戸川の風景を、僕たちはこれからも忘れないでしょう。

そして、学芸発表会。ピカピカの作品が整列して私たちを迎える校内を、ひとつひとつ丁寧に見学する私たち。学年全体が舞台上上がり、ひとつになって、ひとつの歌を、パワフルに、美しく、たっぷりと歌い上げる学年合唱。舞台の部では、会場が一体となり、各団体の発表を温かく盛り上げる三中の一致団結のまとまりが、毎年、ここに 있습니다。

また、僕たちは、生徒会本部として、様々な活動をしてきました。いつでも、気持ちよく仕事できたのは、三中生が、いつもプラス思考であるからです。新しい取り組みや委員会へのお願い、生活改善への呼びかけ、落ち葉はきボランティアなどの有志活動。三中生は、皆、真面目で真剣で、明るく、前向きです。この素敵な三中気質のおかげで、学校がますます活気づいていくのを、僕たちは肌で感じる幸運に恵まれました。

三中気質はまだまだあります。今年、陸上の全国大会に出場した私たちの仲間、一昨年、書道で内閣総理大臣賞を受賞した先輩、昨年、税の作文で国税庁長官賞を受賞した先輩。毎年、区の弁論大会や、社明運動の標語で高い評価を受けたりと、三中はエキスパートぞろいです。そんな受賞者たち、また、検定合格者、組織を代表する長たち、それぞれが皆、この体育館で呼名に対して大きな声で返事をして胸を張り、その雄姿を、私たち全校生徒は、いつも盛大な拍手で称えます。

最後に、三中校歌。関口先生のウォーミングアップで大いに体を温め、僕たちは三中校歌を、いつもこの体育館いっぱい響かせて歌います。僕たちは、私たちは、小岩三中が大好きです。

70年前、近隣小学校を借りて勉強を始めた先輩方。田んぼの中で、地域の方々の支えと援助によって開校した小岩第三中学校。長い年月が学校の上空を通過しました。そして、デジタル化、IT化が進む2017年、70歳を迎えた小岩第三中学校。

時代、環境は違えど、三中スピリット「公德・礼譲・明朗」を今までの二万を超える先輩方からしっかりと引き継いできました。

これからもこの小岩三中を、二万人を超える僕たち三中生の、大切な、誇れる、愛すべき学び舎とするべく、大切にしていけることを、ここにいる全校生徒を代表して誓い、喜びの言葉といたします。



平成29年11月7日 生徒代表 高山 亜子  
伊藤 元晴



# 開校70周年記念式典 ～生徒の姿勢～



570名を超える生徒は、参列の姿勢が良く、歌声も体育館中に響き渡っていました。

全生徒、70周年の節目に当たり、気持ちの入った態度で臨むことができました。

御参列いただいた区関係、地域、諸先輩等の皆様方に恥じない様子をお見せすることができました。

## ～生徒の活躍～

- ジュニア訪問員 3年連続活動者  
江戸川区長表彰  
渡邊 菜々香、鈴木 真帆 (3年)

※ジュニア訪問員とは、中学生ボランティアが2・3人一組で熟年者の方のご自宅を訪問します。今年で3年目の制度です。お話ししながらお互いの顔がわかる関係をつくっていきます。10月25日(水)グリーンパレスで表彰を受けました。

- 区人物写生コンクール入賞  
＜金賞＞岩淵 桃衣、五家 美和 (3年)  
＜銀賞＞東 凜朋 (3年)、小松 空詩 (2年)  
加藤 深月、長島 誇子 (1年)

- 環境をよくする絵画コンクール入選  
＜区長賞＞岡部 麻生 (2年)、新田 夏輝 (1年)  
東 璃乙奈、小泉 咲煌、加藤 深月 (1年)  
＜協議会長賞＞木下 恵、多部田 颯、根岸幸多郎  
武藤 有希 (2年)、日下 紗百合、熊谷みなみ  
小坂井 倫、横井 奈甫、梅山 翔央、斉藤 真央  
坂巻 愛華、内藤 琴乃、張田 一飛、山家 優吾 (1年)

- 愛国学園第79回創立記念祭大運動会 (11/3)  
招待リレー <3年連続優勝7回目>  
＜優勝＞ Aチーム  
泉田 陽菜、田中 珠利 (3年)  
辻本 向日葵、萩原 知嘉 (2年)  
※千葉県、足立区、葛飾区、江戸川区 中学校22校  
35チーム参加

## ～11、12月主な行事予定～

|       |   |                                  |
|-------|---|----------------------------------|
| 11/13 | 月 | 学年朝礼 安全指導 3年面談③                  |
| 14    | 火 | クロスカントリー大会 3年面談④                 |
| 15    | 水 | 学力到達度テスト(3年) 3年面談⑤               |
| 16    | 木 | 日本のしらべ 放課後補習⑤(2年)                |
| 17    | 金 | 数検 3年面談⑥ クロカン予備日                 |
| 18    | 土 | 土曜スクールIX                         |
| 21    | 火 | 期末考査(数・英・音) 避難訓練                 |
| 22    | 水 | 期末考査(社・国・保体) 学年会                 |
| 24    | 金 | 期末考査(理・技家・美) ※給食あり               |
| 27    | 月 | 全校朝礼 専門委員会<br>受験・アルバム用個人写真撮影(3年) |
| 29    | 水 | 職員会議                             |
| 12/4  | 月 | 学年朝礼 安全指導 学年会                    |
| 5     | 火 | 三者面談①                            |
| 6     | 水 | 三者面談②                            |
| 7     | 木 | 三者面談③                            |
| 8     | 金 | 三者面談④                            |
| 11    | 月 | 三者面談⑤                            |
| 12    | 火 | 三者面談⑥                            |
| 15    | 金 | 都内私立高校入試相談始(3年)                  |
| 18    | 月 | 避難訓練                             |
| 20    | 水 | 研修会                              |
| 22    | 金 | 大掃除 給食終                          |
| 25    | 月 | 終業式                              |
| 26    | 火 | 冬季休業日始                           |

- 北小岩まつりポスター表彰  
増田 和奏 (1年)